

2025年4月16日

当社製品『ゼメックス先端可動カニューレ』が「Medtec イノベーション大賞」を受賞

ゼオンメディカル株式会社

当社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:渡辺 順一 以下、ゼオンメディカル)はこの度、日本発の革新的な医療機器を表彰する「第13回 Medtec イノベーション大賞」を受賞いたしました。受賞対象となった内視鏡用カテーテル「ゼメックス先端可動カニューレ」は、滋賀医科大学と共に開発し、2022年に発売開始した製品で、カテーテル^{*1}の先端部分が2方向に急峻に屈曲することが最大の特長です。これにより、複雑に分岐し、かつ形状の個人差が大きい胆管等への挿入時間の短縮が期待される製品です。

Medtec イノベーション大賞は、医療機器の設計・製造において国内企業による革新的な医療機器を表彰する目的で2012年に創設されました。なお、当社が「Medtec イノベーション大賞」を受賞するのは初となります。

「ゼメックス先端可動カニューレ」は、内腔に通した駆動ワイヤにより、先端部を2方向に屈曲できる製品で、ERCP検査^{*2}や内視鏡的胆管処置時に使用される製品です。従来は、可動機構を有しない製品が多く、可動機構を有するものでも「折れやすさ」や「屈曲角度の小ささ」、「狭い管腔内では屈曲性能を活かせない」といった課題を抱えていました。こうした課題を解決するゼメックス先端可動カニューレの開発に成功し、これによりカテーテルやガイドワイヤを目的部位にスピーディかつ安全に誘導させることが可能となり、検査、治療時間の短縮を図ることが期待されます。



ゼメックス先端可動カニューレの主な特長

① 先端可動性と耐キック性

先端の屈曲部素材にePTFE^{*3}を採用することで、優れた耐キック性^{*4}を確保し2方向への急峻な屈曲が可能

② 安定した屈曲性能と高耐久性

屈曲しない本体部と屈曲する先端部をシームレスに成形することで、耐久性を保ちつつ、安定した屈曲性能を発揮



当社は『コンプライアンスを遵守する企業風土を醸成し、医療機器の価値創造を通じてQOL向上に貢献します。』を企業理念として掲げており、今後も当社が手掛ける医療機器の提供により、人々の更なるQOL向上に貢献していきます。

- *1 カテーテル : 細い管状の医療機器で検査や治療に用いられます
- *2 ERCP検査 : 内視鏡的に胆管や膵管を造影する検査ステント
- *3 ePTFE : ポリテトラフルオロエチレン(PTFE)を延伸加工した素材
- *4 耐キック性 : 曲げてもカテーテル内腔が潰れにくい性質

製造販売業者:ゼオンメディカル株式会社

販売名:ゼメックス先端可動カニューレ

認証番号:303ABBZX00057000

以上



本件に関するお問い合わせ先:ゼオンメディカル株式会社
電話:03-3216-1265 お問い合わせフォームは[こちら](#)